

2章 もしイエス様が市長だったら

～「神の御計画」をビジョンとする～

ケニアの首都ナイロビで、歴史的な二つの朝祷会が開催されました。ひとつは国会議員のため朝祷会で、大統領が主賓として招かれました。もうひとつはナイロビ市の市長が開催した朝祷会でした。市議会議員たちの幾人かは、公に信仰を告白していましたが、ナイロビ市の指導者たちが祈るために集まったことはそれが初めてのことでした。会のスピーチの中で大臣が出席者に向かって、「もしみなさんが、自分自身を愛するように隣人を愛するなら、ナイロビは変わるでしょうか？変わるとしたら、一体どのように変わるでしょうか？」と問いかけました。出席した一人ひとりはこの問いかけを主からの語りかけとして受け取ったのです。「もしもイエス様が市長だったら、ケニアのナイロビはどのような街になるだろう？」この朝祷会の後、刷新された霊の一致が出席者を覆っていました。市の指導者たちは、週に一度交わりを持つことと、この朝祷会を毎年開催することに決めました。

インドにいる私の同僚は、チームで一年間働きを展開していた村を訪問し、村の女性たちに、村が「発展」するとは、一体どんな村になることだと思いますか、と聞きました。（もしもイエス様が村長なら、あなたの村はどのようになるだろうか？という質問と同じです。）社交的な女性のひとりであるウムライが、その村とは、一致と団結がある場所です、と答えました。彼女は知っていたのです。村の分裂が、イエス様が栄光をお受けになる妨げとなっていたことを。村の各家庭はそれぞれ、自分たちの家の利益だけを考えて生活していました。彼女の意見によって触発され、村には保健衛生委員会が立ち上がり、自助グループが形成されました。自助グループは14名の村の女性で構成され、定期的に、熱心に集まりを持つようになりました。グループのメンバーは自分たちの貯蓄の中から少しずつのお金を出し合い、村の様々な問題を解決し始めました。ウムライは持ち前の指導力を発揮し、もしイエス様が村長だったらするような、様々な計画を実行に移し、村人たちを働きに動員していきました。

「もしイエス様が市長だったら、あなたの街はどのように変わるだろうか？」私は世界中の牧師たちや教会の指導者たちに、この質問を頻繁にします。この質問への答えの中に、その教会が地域社会にどのように関わって行ったら良いのか、という方向性を知るヒントが隠されていると信じるからです。

聖書ははっきりと言っています。「幻がなければ、民は滅びる」（箴言 29:18 King James Version の訳）。もし若い世代に将来へのビジョン（幻）がなければ、彼らはどうやって時

間を過ごしていいか分かりません。彼らの歩みは方向が定まらず、何かを成し遂げることを期待することは難しいでしょう。しかし、もし若い世代にビジョンがあれば、彼らは堂々と時間の使い方と方向性を決定することができます。同じように、もし教会にビジョンがなければ、現状維持以上のことは期待できません。そのような教会が地域に神の国の影響力を与えることは非常に難しいと言えます。しかし教会にビジョンがあれば、その教会には地上において、また永遠において、大きな変化を生み出す可能性を秘めています。

「もしイエス様が市長だったら、あなたの街はどのように変わるだろうか？」

愛のうちに創造された被造物に対して、神ご自身が持つておられるビジョン以外のことを私たちのビジョンにしたいくはありません。イエス様は常にその父の御心だけを実行に移しました（ヨハネ 5:19）。

このことを踏まえ、想像してみましょう。

「もしイエス様が市長だったら、何をなさるだろうか？」

- イエス様は、ストリートチルドレンやホームレスに対して何をなさるだろうか？
- イエス様は、アルコール、麻薬、その他の依存症患者に、何をなさるだろうか？
- 家庭崩壊の問題に、イエス様はどう対処なさるだろうか？
- 安全な飲み水、適切な住環境と食糧、保健衛生事業、ごみ処理や下水処理、安全に舗装された道を、イエス様はどのように提供なさるのだろうか？
- イエス様は、公正な賃金や適切な雇用をどのように担保なさるだろうか？
- イエス様は、親から望まれない子供たち、病気の人、高齢者に対して、何をなさるだろうか？
- イエス様は、どのように街を美化なさるだろうか？綺麗な道、木々、花、公共の公園などをどのように提供なさるだろうか？
- イエス様は、教育問題をどのように改革なさるだろうか？
- イエス様は、どのような新しい政策を打ち出されるだろうか？
- 人々が問題を適切に評価し正しい決断をするのを、イエス様はどのように後押しされるだろうか？
- イエス様は、地方自治の運営方法をどのように改革なさるだろうか？
- イエス様はご自身の教えをテレビ放送されるだろうか？それとも、ご自身の計画と神の国の働きを推進するために、「市民会議」を開催なさるだろうか？
- イエス様は、市民の犯罪や暴力に対して何をなさるだろうか？警察と地域住民の関係を良くするために、どのような決まりを設定なさるだろうか？
- イエス様は、裁判所や刑務所をどのように変革なさるだろうか？

- イエス様は、所得格差に対して何をなさるだろうか？
- イエス様が市長である街では、「弱き者」「声なき者」は、どのような扱いを受けるようになるだろうか？権力者たちは、市長のことを支持するだろうか？
- イエス様は、汚職や収賄に対してどう対処なさるだろうか？
- イエス様はうつ病、孤独、精神疾患に対して何をされるだろうか？
- イエス様はポルノや不品行、売春にどう対処なさるだろうか？
- イエス様は幼児虐待、家庭内暴力の問題をどう扱われるだろうか？
- イエス様は、どのように市民同士の交流を深めようとするだろうか？
- イエス様は、市民の余暇や行楽、興業をどう扱われるだろうか？
- イエス様は、地域において教会にどんな役割をお与えになるだろうか？
- イエス様はどのように教会の一致を奨励するだろうか？
- イエス様はキリスト教以外の宗教をどのように扱われるだろうか？
- イエス様の言動は、ご自身の命を危機にさらすようなことになるだろうか？
- イエス様のこれらの政策によって、地域はどのように変化するだろうか？

ここで一言注意を申し上げたいと思います。想像があらぬ方向に行く前に、私はここで、この質問が何を意味し、何を意味していないかを明確にしたいと思います。イエス様の御思いと私たちが暮らす現実社会が互いに矛盾しない形で神の統治を想像するために、以下を大原則とします。

- イエス様の市長としての働きは、神のご性質および御言葉と必ず調和します。イエス様は市長として神の御心を実行に移されるのです。
- イエス様は、文字通り肉体を持った市長として再臨なさるわけではありません。(マタイ 24 章) イエス様の御性質、御言葉、価値観、教えが、地方自治の土台となっていたら、一体何が起こるだろうか、ということを私たちは想像するのです。
- イエス様は、教会によって運営される宗教国家を建設なさりたいものではありません。
- その町に住む個人には自由意志があります。
- イエス様は、最高の福祉国家をお作りになりたいわけではありません。例えば、イエス様を首長とする政府は、直ちに全ての人に無料で住居を提供するようなことはしません。また直ちに奇跡を行って、住民全員の問題すべてを解決なさるようなことはしません。聖書に見られるように、イエス様は人々の傷が癒される過程に介入なさりたいと思っておいでです。

イエス様が市長だったら何をなさるか、ということをはっきりと知ることは私たちには出来ません。しかし、私たちは御言葉を学び、イエス様が市長だったら、私たちの街で何をなさるのでしょうか、と聖霊に聞くことは出来ます。私たちは神の御言葉を学び、その

ご性質を知り、その御声を聞く必要があります。イエス様が市長だったらなさる働きは、その地域に対する神様の御心を反映した働きと言えます。イエス様は、天の父にこう祈りなさいと教えられました。「御国が来ますように。御心が天で行われるように地でも行われますように。」(マタイ 6:10) 神は今この瞬間も、天の御国で行われているように、この地でも、ご自身の御心を行いたいと願っておいでなのです。神は被造物と私たちを愛しておられるので、そのことを強く願われます。神は、私たちにとって最善を願ってくださるのです。この章の後半で詳しく述べますが、神は被造物すべてをご自分と和解させたいと願っておられるのです。

他の兄弟姉妹からも学ぶことが出来ます。この本の中には随所に、自分が置かれた場所で、「もしイエス様が市長だったら、ここで何をなされるだろう？」という質問に答え、実践をもって応答してきた具体的な例が紹介されています。

もう一度想像してみましょう。神の御心が天で行われるようにこの地でも行われたら、一体何が起こるのでしょうか。このことを考えるための、もうひとつの質問はこのようものです。「もし来週、月曜日の朝 9 時に、地域住民がひとり残らず神が意図するように生活し始めたら、何が起こるだろうか。」

- もし私たちが、人間関係、健康管理、神との歩みにおいて神の意図に 100%従い始めたら、私たち個人の人生に何が起こるだろうか？
- もし私たちの家族全員が、お互いの関係において神の意図に完全に従ったら、家族に何が起こるだろうか？
- もし私たちの教会と地域の指導者とメンバーのすべてが、心から互いを愛し合い、互いに仕え、弱き者の代弁者となり、一致を保って働き始めたら、何が起こるだろうか？
- もし私たちの地域のリーダーたちが神にあるビジョンを共有し、正直に、誠実に協力して活動をはじめたら、何が起こるだろうか？
- 私たちの経済活動からすべての不正、虚偽、汚職がなくなったら、何が起こるだろうか？
- もし子どもたちが両親を心から尊敬し、自発的に勉強を始めたら何が起こるだろうか？
- 私たちの国から汚職がなくなり、本物の正義が実現したら何が起こるだろうか？

何年も前に、私はホンジュラスのスラム街で牧師たちと祈り、語り合っていました。突然、神は私に、ある話をするようにと促されました。私が話し終わると、そこにいた皆が、神の意図する変革のビジョンとは何かを探り求めるようになりました。その体験を、私は忘れることができません。ではここで、私と一緒にもう一度そのときの、「ジュアンの喩え」を回想してみましょう。

ジュアンの喩え

ジュアンは急速に開発が進む街に住んでいましたが、その中のまだ教会がない地区で新しい教会を始めるよう神に導かれました。彼は職場への行き帰りのバスの窓から毎日、ラス・パラスにある不法居住者たちの集落を見ていました。ここに住む人々に対して何か自分に出来ることはないだろうか、とジュアンは考えました。彼は正規の訓練を受けたわけではなく、聖書学校の単位を、いくつか一般聴講生として聴講したことがある程度でした。彼には正規の訓練はありませんでしたが、人々をイエス様の元に導きたいというはつきりとした情熱がありました。

ジュアンは妻と相談して、二人の若い娘を連れて、家族ごとラス・パラスに引っ越すことに決めました。彼らは、木造のほったて小屋の一部屋を、住居として借りました。ラス・パラスには水道も、電気も、学校も、病院もありませんでした。道は汚れていました。タープル紙という防水の厚紙、ブリキ、古タイヤ、ダンボール、使い古しの板、その他拾って来た材料で風雨をしのぐための家を作り、人々はそこに住み、極貧の生活を送っていました。そこに住むのは、簡単なことではありませんでした。しかしジュアンと妻は、そこに移り住んで働きをするように、神が自分たちを召しておられると信じていました。

仕事に出ている昼間以外、自分の持てる時間の全てを費やして、ジュアンは隣人を訪問し、家庭での聖書研究会に招きました。毎週末になると、彼は牧師の働きをしました。数ヶ月の後には、女性と子どもたちからなる小さな群れが、日曜ごとに一部屋しかない彼の小さな家に集まるようになりました。さらに数ヶ月が過ぎると、彼らは集会のために別の場所を借りることが出来るようになりました。ジュアンの教会には、20名の女性と、非常にたくさん子どもたちが集っていました。地域の男性たちもジュアンには好意的な印象を抱いていましたが、宗教は女性や子供たちのためのものだと彼らは考えていました。

ジュアンは愛に溢れ誠実な牧師でした。彼は毎朝早起きをし、教会メンバーのために祈り、聖書を開き、神の言葉を学びました。教会開拓が二年目に入ると、人々との良い交わりは続いたものの、一年目のような急成長は止まりました。ジュアンと妻は、住環境によって家族の健康が害されていっていることに気づきました。二人の娘は良く病気に罹るようになりました。娘たちに薬を買ってあげるには、彼の収入は不足していました。ジュアンは次第に落ち込むようになりました。

ある日の朝4時に、いつものように妻と娘を起こさないように注意して、ジュアンはこっそり目を覚ましました。家の中央に、プラスチック製の安物のカーテンが掛けられていました。寝るときに居間とベッドルームを仕切る必要があるからです。ジュアンは椅子に

腰掛け、空き缶に立てたろうそくの芯に火を灯しました。空き缶にはろうが入っていて、ランプの替わりに使っていました。彼は聖書を開き、読み始めました。その朝、彼はイザヤ 58 章を開き、神がどんなに飢えた者、裸の者、家のない者、虐げられた者を気にかけておられるかについて読みました。ジュアンは心の中で、搾り出すようにしてこう叫びました。「神様、聖書は貧しい者に対するあなたの憐みについて語っています。それなのに何故、このラス・パラスでは私はそれを見ることができないのですか？」ジュアンは、人々の抱える必要のことを想うと、心の奥深いところが痛みました。祈っている間、涙が彼の頬をつたいました。聖書に書かれている神の御心と、目の前の現実の間のギャップに思いを巡らせていると、ドアを静かにノックする音が聞こえました。

ジュアンはすぐさまドアのところに行きましたが、ドアは開けませんでした。暗闇の中、向こう側に立っているのが誰か分からないままドアを開けるのは危険だからです。「どなたですか？」ジュアンはささやきました。

ドアの向こうから、やさしい声が聞こえました。「私はイエスだ。ジュアン。」

「本当は誰なんですか？」ジュアンは聞きました。

その声は再び言いました。「イエスだよ。ジュアン。」

その声はとても温かく、ジュアンは本当にそれがイエス様かもしれないと思い始めました。彼はドアの鍵として使っているボルトを静かにずらし、注意深く、少しだけドアを開けました。暗闇の中に立っている人の影が見えました。その人は危険そうには見えませんでした。ジュアンはもうすこしドアを開け、「入ってください」と言いました。

しかしイエス様は、「いいえ、ジュアン、私は今朝、あなたの嘆きを聞いた。今日私はラス・パラスの何があなたをそんなに苦しめているのか、あなたと一緒に見にきたのだ。」と言われました。

ジュアンはその招きに応じている自分自身にやや驚きながらも、すぐさま、そして静かに外に出ました。彼は家のドアを閉めました。ジュアンは言いました。「分かりました、イエス様。でも私の傍を離れないでください。今は雨季ですから。私はどこを通れば水溜りを避けられるかを知っていますので。」

「分かったよ、ジュアン。」イエス様は言いました。「あなたに付いていくよ。」

二人は曲がりくねった小道を歩き始めました。歩きながら、ジュアンはイエス様に話しかけました。「イエス様、向こう側にあるあの小屋に、シングルマザーが住んでいます。彼

女は食べ物を得るために、小さな兄弟たちが家の中から見ている前で、泣く泣く自分の息子の1人を売ったのです。」2人はもう少し歩きました。「タール紙で作られたあの小屋には、家族が住んでいます。父親はアルコール中毒で、たまに酔っ払って帰ってきては妻と子どもに暴力を振るっています。地域全体に、父親の怒鳴り声が聞こえるのです。イエス様、私は彼らの叫び声を聞くのが耐えられないほど辛いのですが、私にしてあげられることは何もないのです。」さらに2人は進んで行きました。「ここでは鼻をつまんでください。ここは地域の住人のゴミ捨て場兼トイレになっています。」捨てられたゴミの上をネズミが走り回る音がしました。ジュアンは別の建物を指差しました。それは他の建物よりも大きな建物でした。ジュアンは言いました。「ここは、『ラス・パラスの大統領』の家です。彼は権力を盾に人々から金を集めては、これで水道と電気を引くのだ、などと言っています。でも住人たちはみな、その金が酒と女に使われていることを知っています。」そしてジュアンは角を曲がり、坂を下り、2人がもといた場所に一周して戻ってきました。ジュアンは丘の一番下にある小屋を指して言いました。「イエス様、ラス・パラスの中で今、私が最も胸が痛くなるのはあの家です。あそこに住んでいる女性は、3人の子どもを残して夫に逃げられました。雨が降るといつも、真っ黒な水が溢れ、彼女の家は浸水するのです。あの家族は床に直接寝ていますから、彼女は夜に子どもたちが濡れないように、抱き抱えながら寝なければならないのです！」

ジュアンは、誰かが静かに泣いている声を聞きました。彼はあたりを見回しました。イエス様の肩が震えているのを見て、泣いておられるのは主であることを彼は知りました。ジュアンは、彼の心を引き裂く出来事が、イエス様の心をも引き裂いていたことを知りました。震える声で、イエス様はジュアンのほうを向き、言いました。「ジュアン、私はラス・パラスに対する私の心をあなたに見せたい。」

どのようにしてそれが起こったのかジュアンには分かりませんでした。突如、イエス様と彼はラス・パラスを空から見下ろして見ました。ジュアンは町全体を見下ろすことが出来ました。イエス様は、人々のための適切な住環境について語り始めました。すると突然、小屋が小奇麗な住宅に変わりました。それらは贅沢ではありませんでしたが、住みやすい住宅でした。イエス様は職業と仕事について語り始めました。するとジュアンはラス・パラスの住人たちが仕事に出かけていくのを見ました。ジュアンにはその仕事が高収入ではないことが分かりました。でもその稼ぎは、家族を養うには十分なものでした。イエス様は生活水について語り始めました。すると突然、皆が水汲みに来れる場所に井戸が現れ、地域の住人は皆、そこから衛生的な水を手に入れることが出来るようになりました。イエス様は教育と健康について語りました。ジュアンの目の前に、学校と病院が現れました。イエス様は街の美化について語りました。ジュアンはゴミの山が消えるのを見ました。そして木々と花が植えられた公園が現れ、そこで子どもたちが遊んでいました！イエス様は、

夫婦と子どもが、お互いを尊重し合う健全な家庭について語りました。またイエス様は霊的な癒しのことも語りました。ジュアンは、彼の教会に沢山の家族が集っているのを見ました。そこには男性たちの姿もありました！彼はわくわくし、考えました。「これは、まさに私が願っていた街の姿だ！」

イエス様はジュアンの考えたことを心で知られ、こう言われました。「ジュアン、これがラス・パラスに対する私の心だ。私はあなたに、私の計画を人々に伝え、導いて欲しいのだ。」

「でも、イエス様」ジュアンは抵抗しました。「私には無理だと思います！女性と子どもたちしかいない私の会衆に、一体どんなことが成し遂げられるでしょう？私たちは、その日その日を生き延びるのに精一杯なのです！」

「ジュアン、私の言うことを聞きなさい。私はあなたに、私の計画をこの人々に分かち合い、会衆が隣人に仕えることができるように助けてやって欲しいのだ。病人やシングルマザーを訪問しなさい。隣人たちと物を分かち合いなさい。会衆は日曜日の礼拝に来るとき、教会に1カップの米、小さな石鹼、塩や砂糖、いくらかの野菜や、余った衣服などの物資を持ってくることができるでしょう。それらを集め、もっと貧しい人々のところに届けなさい。それを毎週するのです。あなたは市の職員のところに行き、彼らと信頼関係を築きなさい。そしてラス・パラスに水道と電気を引くのには何が必要かを調査するのです・・・」

「イエス様」ジュアンは言いました。「現実を直視したほうが良いと思います。そんな小さなことで何かが変わるでしょうか？私は・・・」

「ジュアン、この世界を作ったのは誰だ？」

「主よ、それはあなたです。でも・・・」

「ジュアン、イスラエルの民が通ることが出来るように、紅海を二つに分けたのは誰だ？」

「あなたです、主よ。でも・・・」

「ジュアン、5つのパンと2匹の魚で5,000人を養ったのは誰だ？」

「あなたです、主よ。しかし・・・」

「ジュアン、私は昨日も、今日も、いつまでも変わらない。あなたは自分の役割を果たすのです。残りは私がする。私が再臨するまでに成就することのない変革もある。しかし、あなたにその一步を踏み出して欲しいのだ。あなたと、あなたが牧会している小さな群れは、私の大使であり、私の代理人なのだ。あなたが着手するなら、私はラス・パラスを癒し始める。」

ジュアンはイエス様の言葉に思いを巡らしました。突如、ジュアンは鶏が鳴く声を聞きました。部屋を仕切るカーテンの向こうで、妻が起き出す音がしました。気が付くと、彼は食卓の椅子に座っていました。ろうそくの芯は燃え尽き、外は明るくなっていました。

ジュアンはイエス様が近くにいないか探しましたが、誰もいませんでした。「何が起きたのだろう？」ジュアンは考えました。「私は幻を見たのだろうか？それとも夢だったのだろうか？」ジュアンには分かりませんでした。でもはっきりしていることが一つありました。イエス様は彼に出会われ、今や彼は、ラス・パラスの教会と地域に対する、新しいビジョンに燃えている、ということでした。

イエス様は、ジュアンが住む地域だけでなく、私たちが暮らす地域に対しても同じように願っておられると、私は信じています。実際私は、多くの国々の地域教会のリーダーがビジョンと希望を持つことが出来るように、この「ジュアンの喩」を分かち合ってきました。

ここまで私は、質問を投げかけ、問題提起をし、例えを用いました。これを読んでいる多くの方々は、「もしもイエス様が市長だったら、私の街はどのように変わるだろうか？」という質問の答えを既に探し始めておられると思います。私も、自分の考えを分かち合いたいと思います。もしもイエス様が市長だったら、私はイエス様が次のようなことをされるのではないかと想像しています。

- イエス様は、「父の御心になる」とはどういうことか、ということの模範となるような生活をされるでしょう。
- イエス様は、教会が自らの使命を理解し、ご自身の模範に倣って父の御心に従う生活をするのを励まし、教会の人々がどこで何をしても、意識的に父の御心を前進させることができるようにお助けになるでしょう。
- イエス様は、市民生活の全ての領域ービジネス、教育、医療、警察、住居、その他の領域ーにおける父の御心を、人々が知る事の出来るようになさるでしょう。
- イエス様は、父の御計画に従うことの大切さと、その御計画を軽視することの危険性を、憐みをもって人々にお伝えになるでしょう。

父の御心を知り、それを実行に移すということは、大事業です！イエス様は、現実世界で私たちのために市長となってくださるわけではありません。ジュアンにされたように、イエス様が私たちの家のドアを実際にノックされたわけでも、超自然的に幻を与え、ご自身の憐れみを示されたわけでもありません。私の同僚のひとり、イエス・キリストが地域の指導者だったら、と想像するのは難しいと感じていました。彼女は違う言い方でその

質問を自問してみました。「もし私がこの街の市長で、聖霊の力によってイエス様の御計画をどんなことでも実行できるとしたら、私の街はどうかしら？」

これは素晴らしい質問です。考える価値のある質問です。しかしながら、この事業は一人の人間にとってはあまりにも大きすぎます。もしも、この働きのために備えられた団体、つまり人々の群れがあれば・・・地域のすべての領域にメンバーが配置されているようグループが・・・正しい道徳基準を持っている人々の集団が・・・あらゆる世代の人々に関わることが出来、神の創造の全ての側面一個人、家族、隣人、地元の経済、自治体、教育、保健衛生、地域の環境に関係を持っているような人々を包含しているような団体が存在してくれさえすれば・・・

実は、そのようなグループが実在するのです。それは「教会」という名前で呼ばれています！教会に集っている多種多様なメンバーは、社会のあらゆる部署に配置され、神の御心を実行するようにその地域に置かれているのです。

次に、私たちの訓練会に参加し、自分たちの地域において、イエス様がどのようなことをなさるかということ祈り考えた結果、導き出されたいくつかの答えを見ていくことにしましょう。彼らはただ単に「イエス様ならこんなことをされるだろう」と答えたわけではありません。彼らは実際にそれをしたのです！私は、地域奉仕を例に挙げましたが、それは、人々がしばしば市長に対して期待していることだからです。そこから始めるのは妥当だと思います。しかしながら、もしイエス様が市長であったらなさる事の項目のリストは、それよりもはるかに多様性に富んだものになるでしょう。つまるところ神様は、私たちの人生の全ての側面に関心を寄せておられるのです。

- アジアのある国で、田園に囲まれた村に教会がありました。その地域は仏教徒が多数派を占めていました。私たちのカンファレンスに参加したその教会の牧師は、村に帰ると、学んでき事を教会員に教えました。30名の教会員は、神の愛を隣人に対して実践することを決意しました。雨季になると、この村には周囲から水が流れ込んできます。道路は通行止めになり、人々の居住地域にまで水位が上がり、家が浸水してしまいます。蚊が繁殖し、デング熱等の伝染病を媒介します。村の収入源である、池の漁場も洪水の被害を受けます。浸水してしまった隣人の家と田んぼの間に、教会の建物がありました。教会員たちは、自分たちの手を使って、浸水した隣人の家から、教会の敷地を通り抜け、田んぼにつながる溝を掘りました。そしてその溝にコンクリートのパイプを伝わせました。しばらくすると雨水がパイプを伝い、浸水していた隣人の家から水が引きました。それは大変な仕事でした。しかし、この出来事は村に大きな影響を与えました。教会は、以前は反目しあっていた仏教徒の隣人と良い関係を築き

始めました。教会員たちが雑草を取り除き、ゴミを片付け、あらたな排水用の側溝を作る作業をすると、多くの隣人たちも手伝ってくれました。その教会は大きいわけでも（教会員 30 名）、歴史が長いわけでも（創立 7 年）、お金がや能力があるわけでもありませんでした（教会員の多くは読み書きが出来ない農夫でした）。でも彼らは地域の中で神の愛を実践しました。彼らは、イエス様が市長だったらそうされたいと願っておられたことをしたのです。

- ワンデレイとダルバは、ブラジルで地域に仕えたいという願いを持ちました。彼らは最初、小さなプロジェクトを試験的に行いましたが、より大きなことも出来るようになるようになりました。彼らは「インマニエル（神が私たちと共にいる）」という団体を立ち上げました。彼らは 1 つの地域に対して、15 の異なる福祉プロジェクトを行いました。彼らは子どもたち 40 名の面倒を見る学童保育施設を建設する資金を募り、大きな教会の牧師と教会員を巻き込み、政府のいくつかの省庁をも巻き込みました。彼らの情熱は、神の御計画、愛、御心を現したものでした。彼らを訓練した私たちのスタッフは言いました。「彼らの情熱には、伝染性があります。」イエス様が働かれました。
- ウガンダの田舎で聖書研究会に参加している女性たちは、自分たちの住む村に奉仕したいと思いました。彼女たちは綿密な計画の下に、村にある酒場の周りのゴミを片付けることにしました。勇気ある 2 人の女性が、酒場の建物の中に入りました。（その村では普通、酒場に入る女性は、売春婦と決まっていました。）彼女たちは、周囲のゴミ拾いをして良いか、許可を求めました。オーナーは驚き、笑いましたが、許可を与えてくれました。女性たちは地域の住人たちに呼びかけ、動員しました。地域の有名な学校の理事長も手伝ってくれました。グループは、二つの穴を掘りました。一つは生物分解されるゴミ、もう一つは生物分解されないゴミのための穴です。酒場にいた客たちも、彼女たちがゴミを片付けているのを見て、手を貸してくれました。地域にとって素晴らしかったのは、近所の酒場のオーナーたちもその地域を清潔に保ち続けてくれたことです。このことに励まされた女性たちはさらに、近隣の家族のために低燃費のストーブを 9 つ設置し、貧しい人々のために貯水タンクを供給しました。続いて、その聖書研究会はさらに大きなプロジェクトに着手しました。地域の市場です。（その村の女性たちはいつも、畑の作物や手製の売り物を、遠い市場まで何時間もかけて歩いて運んでいました。もし近くに市場があれば、女性たちは家族や地域や畑からあまり離れていないところで収入を得ることが可能になります。）ある人が土地を提供してくれました。しかしその土地は、市場を始めるには坂の勾配がきつすぎました。聖書研究会の女性たちは祈りました。ほどなくして、近くの道を修繕していた道路建設の作業員たちがやってきて、喜んで、無償で、その土地をブルドーザーで平らにしてくれました。神の助けにより、クリスチャンの女性たちからなるその小さなグループは、必要なものを探し、集め、お金を節約して貯蓄し、難題を解決し、地域の市場を建設

しました。また彼女たちは、政府の高官たちの集会で、この出来事のいきさつについて、確信にあふれ、素晴らしい発表をしたのです。イエス様のために他者に仕えたとき、彼女たちの信仰は成長しました。

- 約 100 の家族からなるアジアの貧しく小さな集落に、新しく教会が開拓されました。教会員たちは、地域の必要に応えたいという願いを持っていました。その集落には電気が来ていなかったもので、彼らは発電機を購入し、一軒につき一つの回線と、一つの電球を供給する計画を立てました。そうすれば、子どもたちは夜も読書や勉強が出来るようになり、大人たちも夜間働くことができるようになります。教会の牧師は、教団のリーダーたちとお茶を飲みながらこの計画について話し合いました。教団指導部は着手することに同意してくれましたが、まずは発電機を見つける必要がありました。その話し合いの場所から少し離れたところでお茶を飲んでいた男が、こう言いました。「私は最近キリストを信じました。今、あなたがたの話の内容を聞かせてもらいました。私が持っている新しい発電機をあなたがたにお譲りしたいと思うのですが。」家々に供給する電気が確保されました！それぞれの家が少しずつお金を出し合って、発電機の燃料と維持費に当てました。地域住人の多くは、教会が彼らに関心を寄せてくれていたことに、感謝を示しました。教団のリーダーたちも、「隣人を愛する」ことの力をその目で見る事が出来、主をたたえました。イエス様の御計画が成し遂げられました。
- ハイチのフォンブリードでは、人々は生活水を得るために 3 キロの丘を上がり、汚れた川の水を汲みに行っていました。しかもその川は、しばしば干上がっていました。ある日、外国人のグループが機械とともにやってきて、私たちはここに井戸を掘る、と言いました。人々は興奮しました！しかし、その機械では歯が立たないほどの大きな岩が地下にあり、穴を開けることが出来ませんでした。全員の顔に失望の色が見えました。地域教会のリーダーたちは、人々の生活水の必要を満たすために彼らが出来ることがないかと調査を始めました。彼らはその機械を持ってきた国際援助団体のところに行き、手で井戸を掘るのを手伝うことはできないかと話しました。最初、そのアイデアは受け入れられませんでした。援助団体の人々の言い分はこうでした。「手で井戸を掘ることができるのなら、どうして我々が来る前にそうしていなかったのだ」しかし、その教会は必要な道具をレンタルし、教会が所有している敷地に人力で井戸を掘り始めました。約 12 メートル掘ったところで、水が溢れ出しました。祝賀会が盛大に執り行われました！にもかかわらず、教会外の人々は喜びませんでした。彼らは、教会メンバーが水を独占するだろうと考えたのです。人々の予想とは反対に、教会員たちは地域の人々に神の祝福を分かち合いました。ほどなくして、近くの別の地域の代表者が教会を訪れ、井戸を掘るのを手伝って欲しいと申し出ました。1 年が経たないうちに、15 の井戸が人力で掘られました。もしあるとき機械で井戸を掘ることに成功

していたら、おそらく現在フォンフリードには一つの井戸しかなかったでしょう！教会は、具体的な方法で隣人に神の愛を現し、イエス様が市長であったならするであろうことをしたのです。

この章を「もしイエス様が市長だったなら、何をなさるだろうか？」という質問をもって始めました。その質問をこのように言い換えてみることも出来ると思います。「もしイエス様がこの地で、ご自分の民である教会を通して仕えられるとしたら、イエス様は何をなさるだろうか？」神は既に、ご自分の民が地域において、その置かれた生活の現場や職場において神の御心を行うよう命令し、そのために人々を整えておられます。私たち教会の使命は、天でそうなっているように地でも神の御心が行われるために仕えることなのです。

最近、私の友人がこの本のタイトルを見て、このような疑問を持ったといいます。「なぜ市長なのだろうか？」どうして大統領や総理大臣、政府ではないのか？彼はしばらく考えた後、自身の疑問に答えを見出したと語ってくれました。「そうか、この本のタイトルは、神が地域教会を通してなさりたい働きについて語りたいのだ。もしイエス様が、地域教会が仕えるようにと神に召されている地域のリーダーであったら何をなさるか、というところから私たちは考えはじめる必要があるのだ。」

人々が「もしイエス様が村長だったら何をなさるだろうか？イエス様はもし私の街の市長だったら何をなさるだろうか？」という質問を熟考した結果生まれた、刺激的な解答の実例としてネパールとペルーから寄せられた二つの報告を聞いてください。

もしイエス様が村長だったら、何をなさるだろうか？（ネパール）

報 告 書

——ボブ・モフィット様へ 2004年某日

私は、ネパールで訓練プログラムを実施しています。私は教会を開拓している牧師や、地域の保健師たちを訓練しています。インドで開催されたビジョン・カンファレンスに参加して、福音に対する私の考え方と、人々への訓練方法は変えられました。現在、私は訓練の中で人々を小グループに分け、それぞれのグループに大きな白い紙を渡し、教会がなく、クリスチャンもいない村の地図をその模造紙に書いてもらっています。そして私は彼らに二つの質問をします。

- 「もしあなたがこの村に5年間住むなら、あなたはどのように福音を伝えますか？」
- 「5年後に、あなたがこの村で見たい結果は何ですか？」

彼らが地図に絵を書き込むのを見れば、彼らが福音をどう理解しているのかを私は知ることが出来ます。人々と関係を築き、最初は個人伝道から初め、次に大衆伝道をし、教会を設立する、という絵を描く人々もいます。彼らは霊的な事柄に焦点を絞っています。全てのグループが描き終わると、全てのグループは、5年後に村に沢山のクリスチャンがいて、沢山の教会が生み出されているのを見たい、と言います。

彼らの発表が終わると、次に私は、この質問をします。「もしイエス様がこの村の村長だったら、彼は何をなさるだろうか？」彼らは衝撃を受けます。そして互いに話し合います。私はその様子を見ています。「イエス様は何をなさるのだろうか？」「村にトイレを建設するかも知れませんね。学校を建てるかもしれない。衛生的な水を供給するかもしれない。いや、まずは病院だろう・・・」

このようにして、人々は、より大きな福音の全体像を掴んでいきます。彼らは現在、この質問を携えて村に遣わされて行きます。「もしもイエス様が村長だったら、彼はどんなことをなさるだろうか？」

感謝を込めて
ナル・B・L

■もしイエス様が私の街の市長だったら（ペルー）

ペルーでは、市長はその町で最高の権力者です。ペルー人が市長という言葉を知ると、彼らはすぐにそれがどんな人か想像できます。多くの場合、それは上昇志向の強い人物、汚職にまみれた人物、あるいは権力をひけらかす人物です。イエス様をそのような人々と同じように考えるのは、私はよくないことのように思いました。しかし、イエス様が私たちの只中に住まわれることを、私たちが具体的にイメージしないことによって多くの問題が引き起こされる、というのも事実です。

この本のタイトルは、地域の現状と神の国の現実を結びつけて考えるきっかけを私に与えてくれました。もしイエス様がリマ、あるいは私が生まれた街、アレクイパの市長だったら、次のようなことをなさるでしょう。

- 自分自身が仕える模範を示されることによって人々を導く。
- 地域の人々の課題を解決することをいつも優先させる
- 地域の発展を考慮する（選挙のときだけ道を修繕するようなことはしない）。
- 問題の症状ではなく、原因に解決を与えるような行動計画を立てる。
- 罪および不正と対決する。

- 地域の将来について明確なビジョンを持つ。
- 目に見える必要（電気、水道、下水など）だけでなく、もっと深い必要にも配慮する。
- 次世代を育てるために、聖書の原則に基づいた「(親のための)子育ての学校」、「子どもがリーダーシップを学ぶ学校」のようなものを設立する。
- 子どもたち、若者たちを、将来のリーダーとして扱う。彼らを将来良き変化を起こす可能性をもつ主体的な存在として見る。
- 医療キャンペーン、絵画コンテスト、芸術の展覧会等等、人々の価値観を啓発するような地域活動を催す。
- 文化の中にある偽りの価値観と対決し、真理に基づく正当な文化的要素を肯定することによって、地域の文化を尊重しつつ、それをさらに価値あるものとされる。

*ルース・コンチャ、記録原稿 (ペルー、2003年10月)

私たちは、もしイエス様が私たちが住む村、街、大都市の指導者であったなら何をなさるか、自分自身に問いかける必要があります。そのとき私たちが出す答えは、キリスト教会が過去に成し遂げて来たことと重なりあってみえてくるようになると私は信じています。初代教会の時代から、神の民は隣人に愛を示し、周囲の社会に影響を与えてきました。そう、あたかもイエス様が市長であったかのように。